

平成29年度 全国学力・学習状況調査

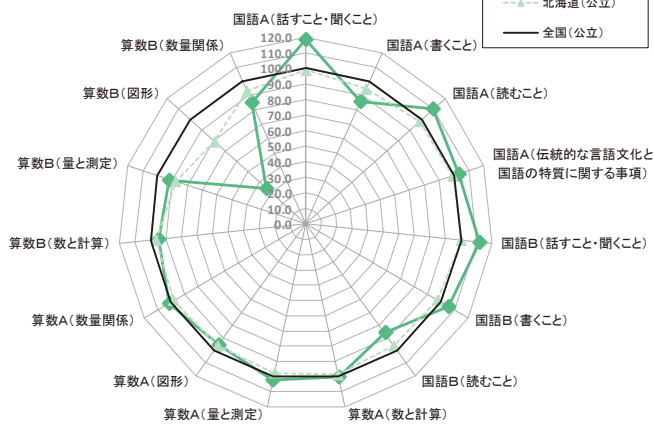
福島町立学校の結果をお知らせします。

平成29年4月18日（火）に、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として「平成29年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。当町においても福島小学校・吉岡小学校の6年生と福島中学校の3年生が実施しましたので、その結果をお知らせします。

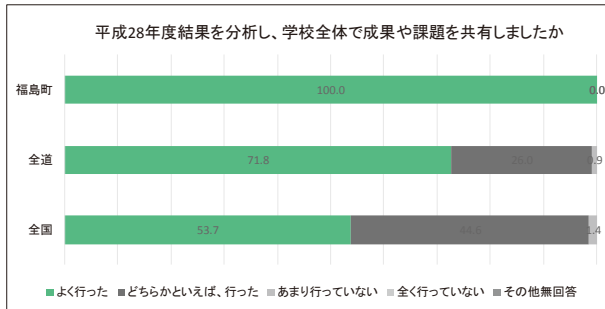
■福島町内小学校の状況及び学力向上策（学校数：2、児童数：22名）

【教科全体の状況】

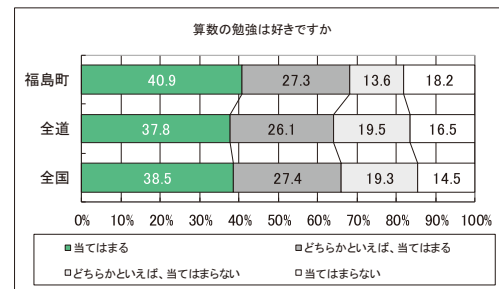
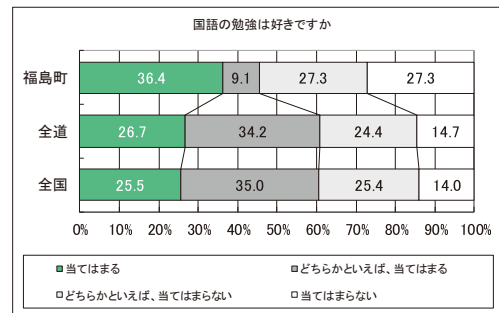
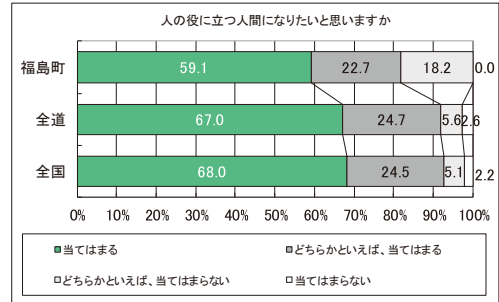
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 （市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○国語は、A・Bともに全道平均を上回ることができた。特に国語Aの「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、国語Bの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」は全国平均も上回る結果となった。 ○国語Bの「読むこと」については、課題が残った。 ○算数Aは、全道平均並みで、算数Bは、全道平均を下回った。特に、算数Bの「図形」の領域は全国平均を大きく下回る結果となり、本町における課題となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業における学習のきまりの定着や板書・ノート指導の徹底した取り組みにより、指導内容の定着が図られたと考えることができる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○国語と算数の勉強が好きですかという質問に対して、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合は、全道・全国平均を上回っている。 ○人の役に立つ人間になりたいと思うかの質問に対して、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合は、全道・全国平均を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語、算数の勉強が好きで児童が全道・全国平均を上回ったことは、学習内容を理解し、学習意欲が高まったものと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○町内においては、すべての学校が、平成28年度調査結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有し授業改善に生かしている。 	

【福島町の学力向上策】

- ◎基礎的・基本的な知識の技能の定着を図るための計画的な取り組み
- ◎チーム・ティーチングによる習熟度に応じた個別指導の充実
- ◎思考力・判断力・表現力等を育成するための計画的な取り組み
- ◎放課後や長期休業中のサポート学習の強化